

2011年9月26日

2010年度下期および2011年4月分として

温室効果ガス7,875 トン分のカーボンオフセットを実施

被災地で創出されたJ-VERも活用したカーボンオフセットで復興を応援！

オフセット実施件数は約46万件、2010年度上期比約2倍！

日本興亜損害保険株式会社(社長 二宮 雅也)では、お客様の温室効果ガス排出量削減を支援するため、2008年度9月より、業界でいち早く保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを実施しています。

この度、2010年度下期および2011年4月分として、「発展途上国における風・水力発電プロジェクトにより創出された排出権(CER)」および「日本国内の森林管理等により森林が吸収した温室効果ガス吸収量に基づいて創出されたオフセット・クレジット(J-VER)」を合計で7,875トン分取得し、カーボンオフセット手続き(排出権の取得および日本国政府への無償譲渡等)^{※1}を実施しましたのでお知らせいたします。

また、今回は環境省事業である被災地支援協議会^{※2}を通じて、岩手県釜石市で創出されたJ-VERを購入することで、被災地の復興を支援します。

このカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスは、2008年9月より実施していますが、今回の手続き分を加えたオフセットの累計は **15,529トン**となります。

これは**東京ドーム約426個分**^{※3}のスギ森林が1年間に吸収するCO₂に相当します。

※1 オフセット手続きについては、株式会社リサイクルワンおよびオリックス株式会社を通じて行っています。(別紙「カーボンオフセット証明書」参照)

※2 被災地(岩手、宮城、福島)で創出された排出権の販売を促進することにより、被災地の経済的支援と地球温暖化対策の双方を促進していくことを目的として設立された協議会

※3 1980年生のスギ人工林 1ha 当たりのCO₂吸収量を年間7.8トンとして試算(出典:林野庁ホームページ)

■2010年度下期および2011年4月分のカーボンオフセット実施内容

【オフセットの実施件数】

対 象	環境貢献効果	実施件数	2010年度 上期比 ^{※4}
自動車保険(Eco-Net 約款・Web 確認)	紙の省資源化	422,084 件	215.0%
樹脂バンパー補修、エコパーツ活用	修理部品の省資源化	36,818 件	105.5%
	合計	458,902 件	198.5%

※4 上期分は7ヶ月分(2010年10月から2011年4月まで)の期間に相当する件数を用いて算出し比較

【オフセットした温室効果ガス排出量】

7,875トン (排出権取得に要した費用:22,945,100円)

*実施件数 458,902 件×50円/件=22,945,100円

【今回のカーボンオフセットに使用した排出権の内訳】

＜発展途上国の排出権＞

排出権種別	CER※5	CER※5	CER※5
国連登録番号	0042	0998	1484
プロジェクト名	Lafarge セメント工場 に対する Tetouan 風力発電プロジェクト	インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト	貴州省におけるシャパ 30MW 水力発電プロジェクト
実施国	モロッコ王国	インド共和国	中華人民共和国
プロジェクトタイプ	風力発電	風力発電	水力発電
今回のオフセット量	2,685トン (プロジェクト全体の予定削減量は 200,557トン)	2,000トン (プロジェクト全体の予定削減量は 572,478トン)	3,000トン (プロジェクト全体の予定削減量は 91,396トン)
プロジェクト風景			

＜日本国内の排出権＞

排出権種別	J-VER※6	J-VER※6
プロジェクト番号	0022	0034
プロジェクト名	三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト	岩手県釜石市 釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業
実施都道府県	三重県	岩手県
プロジェクトタイプ	森林整備	森林整備
今回のオフセット量	100トン (プロジェクト全体の予定吸収量は 6,974トン)	100トン (プロジェクト全体の予定吸収量は 10,423トン)
プロジェクト風景		

※5 CER(Certified Emission Reduction): 国連で認証された発展途上国との共同事業であるCDM(Clean Development Mechanism)で削減した温室効果ガス削減量に基づいて創出された排出権。

※6 J-VER(Japan-Verified Emission Reduction): 国内の温室効果ガス排出削減・森林吸収プロジェクトにより生み出された削減・吸収量に基づいて環境省が発行するクレジット。

【カーボンオフセットの対象】

弊社は、保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝え、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様の環境配慮行動(紙の省資源化や修理部品の省資源化など)を促していきたいと考えており、2008年9月よりカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスをご提供しています。

お客様が以下のいずれかのプランをご選択された場合は、弊社が1件につき50円を負担して国連認証の再生可能エネルギーのプロジェクトなどから生成される排出権を購入(カーボンオフセット)しています。

① 自動車保険「Eco-Net 約款」「Web 確認」カーボンオフセット

インターネットで保険約款などをご確認いただくペーパーレスのプランです。

「Eco-Net 約款」は保険約款を、「Web 確認」は保険証券および保険約款を紙により交付しない代わりにインターネットでご確認いただけます。

② 保険事故対応カーボンオフセット

車両保険事故の車両修理時に、環境にやさしい樹脂バンパー補修やエコパーツ(リサイクル部品)の活用を推進しています。

* オフセットの対象は、保険のWeb申し込みおよび保険事故対応業務において排出するCO₂量としていますが、実際にオフセットする量は前記のとおり1件につき50円の定額としています。したがって、オフセットの対象から排出されるCO₂の算定結果に基づき実施しているものではありません。なお、カーボンオフセットの仕組みについては、弊社ホームページをご参照ください。
(http://www.nipponkoa.co.jp/environment/carbon_off_set.html)

以上

【ご参考】

■オフセット以外の環境貢献効果

(CO₂換算)試算値 3,395トン (2008年9月より累計)

* 紙の省資源化による効果は、実際に削減される印刷物重量から弊社で試算した概算値。

また、樹脂バンパーおよびエコパーツ活用の効果は、社団法人日本損害保険協会のホームページに掲載のデータをもとに弊社で試算した概算値。



Carbon Offset Certificate

カーボンオフセット証書

リサイクルワン・プロトコルに基づいて、下記の通りカーボンオフセットが完了したことを証します。

日本興亜損害保険株式会社

発行番号：14-4231-0001

証書発行日	：	2011年9月22日
オフセット量	：	4,885 t CO ₂ e
オフセット対象	：	保険事故対応業務および保険のWEB申し込みにおいて排出するCO ₂
排出削減クレジット	：	CER、J-VER
削減プロジェクト	：	①②Lafarge セメント工場に対する Tetouan 風力発電プロジェクト (国連登録番号 0042) ③インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト (国連登録番号 0998) ④三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト (プロジェクト登録番号 0022) ⑤釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス 吸収事業プロジェクト (プロジェクト登録番号 0034)
シリアル番号	：	①MA-000-000-000-021-428~MA-000-000-000-022-112 ②MA-000-000-000-023-113~MA-000-000-000-025-112 ③IN-000-000-062-971-138~IN-000-000-062-973-137 ④JP-200-000-000-026-612~JP-200-000-000-026-711 ⑤JP-200-000-000-035-419~JP-200-000-000-035-518
無効化方法	：	①~③日本国政府の償却口座に移転 ④⑤環境省のカーボン・オフセット用無効化口座に移転
無効化完了日	：	2011年9月22日
制約条件	：	なし

本証書は、株式会社リサイクルワンが自主的に定める「リサイクルワン・プロトコル」に基づいて、上記の通り適正にカーボンオフセットが完了したことを証すものです。「リサイクルワン・プロトコル」は、リサイクルワンのカーボンオフセット業務に係わる手順を規定するもので、英国カーボンニュートラル社のプロトコルを基に、日本国政府が公開する各種ガイドラインに則って規定されています。またその内容、およびリサイクルワンのカーボンオフセット業務がプロトコルに則って執行されている事実について、定期的に第三者機関の審査を受けることで信頼性・客観性を高めています。

温室効果ガス排出量の増加により、急速に地球温暖化が進行しています。市民、企業、行政等の社会構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、カーボンオフセットに取り組むことで、より効果的な地球温暖化対策が可能となります。



株式会社リサイクルワン 東京都渋谷区渋谷 3-10-13
Recycle One, Inc. 3-10-13, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo, Japan.

www.recycle1.com



Carbon Offset Certificate

カーボン・オフセット証書

日本興亜損害保険株式会社 御中

2011年9月1日付で貴社と締結したカーボン・オフセット業務委託契約(以下「オフセット契約」といいます)に基づき、下記のとおりカーボン・オフセットが完了したことを証明します。
なお、本証書で使用される各用語は、本証書で別途定めるものを除き、オフセット契約において定義された用語と同一の意義を有するものとします。

記

【本委託業務】

貴社の自動車保険の契約時、当該保険契約者に紙による保険約款や保険証書の発行を行わず、貴社のホームページ内で閲覧する方法を当該保険契約者が選択した場合、保険契約件数1件あたり金50円、および貴社の自動車保険の車両保険事故の修理時、当該保険契約者が樹脂バンパーの交換ではなく、補修をしたり、交換部品についてエコパーツ(リサイクル部品)を活用した場合、それら活用件数1件あたり金50円を貴社が負担することにより、低炭素社会の実現を目指すことを目的として、オフセット行為を行う業務。

【本件クレジットの数量】

CER: 3,000 t-CO₂

【本件クレジットのオフセット行為の方法】

日本国政府の管理口座における償却を目的とした口座への移転の方法による。

【本件クレジットの詳細】

本件クレジットの種類	CER
プロジェクト	中華人民共和国・貴州省 水力発電プロジェクト Shaba 30MW Hydro Power Project in Guizhou Province China
オフセット行為の申請日	2011年9月14日
本件クレジットのシリアル番号	CN-000-000-309-789-260 ~ CN-000-000-309-792-259

証書発行番号:ORIXECO20110922

2011年9月22日

東京都港区浜松町 2-4-1

オリックス株式会社

